

### 1.3 環境への取り組み

これまでに実施してきた環境保全への取り組みを表 1.3-1 に示す。

表 1.3-1 これまでの環境保全への取り組み(1/6)




項目	環境保全への取り組みの内容
<p>大気環境に係る事項</p>	<p>定期的な散水 定期的に散水を行い、工事によって発生する粉じん等を低減している。</p> 
	<p>工事用車両のタイヤ洗浄 工事用車両のタイヤ洗浄を行い、工事用車両の運行によって発生する粉じん等を低減している。</p> 
	<p>裸地の早期緑化 工事により発生する裸地の早期緑化を行い、裸地から発生する粉じん等を防止又は低減している。</p>
	<p>建設機械の複合同時稼働・高負荷稼働の回避 民地近傍における建設機械の複合同時稼働・高負荷稼働を回避し、工事によって発生する粉じん等、騒音及び振動を低減している。</p>
	<p>低騒音、低振動型建設機械の使用 低騒音、低振動型建設機械を使用し、工事によって発生する騒音及び振動を低減している。</p> 
	<p>アイドリングストップ 停車中の車両等のアイドリングストップを行い、工事によって発生する騒音及び振動を低減している。</p>

表 1.3-1 これまでの環境保全への取り組み(2/6)





項目	環境保全への取り組みの内容	
<p>大気環境に係る事項</p>	<p>防音シート等の設置                      工所用道路に防音シート等を設置し、工所用車両の運行によって発生する騒音を低減している。</p>	
<p>水環境に係る事項</p>	<p>路面平坦性の維持                      路面平坦性を維持し、工所用車両の運行によって発生する振動を低減している。</p>	
<p>動物、植物、生態系に係る事項</p>	<p>環境巡視の実施                      環境巡視を実施し、工事現場における環境保全状況の把握、工事において改善を要する点や注意すべき点を把握している。</p>	
	<p>環境手帳の配布                      重要な動植物を掲載した「嘉瀬川ダム環境手帳」を配布し、動植物の保全に努めている。また、嘉瀬川ダム周辺の自然環境に対する意識を深め、環境保全に対する意識の向上を図っている。</p>	

表 1.3-1 これまでの環境保全への取り組み(3/6)

項目	環境保全への取り組みの内容	
動物、植物、生態系に係る事項	<p>現場代理人会議の実施 現場代理人会議を実施し、工事にあたって重要な動植物の保全に努めるとともに、自然環境に対する認識を深め、環境保全に対する意識の向上を図っている。</p>	
	<p>植生の早期復元 付替道路、原石山、土捨場等の工事によって出現する切土面、盛土法面等は、苗木植栽や種子吹き付け等によって植生の早期復元を図り、動植物の生息・生育環境の保全を図っている。</p>	
	<p>動物の移動路の確保 付替道路等により動物の移動経路が分断される箇所では、人工的な移動経路を確保している。</p>	 <p data-bbox="758 1216 938 1272">動物の移動経路</p>
	<p>小動物の脱出経路の確保 U字型排水側溝に切り欠きを入れ、側溝に転落した小動物の脱出経路を確保している。</p>	

表 1.3-1 これまでの環境保全への取り組み(4/6)



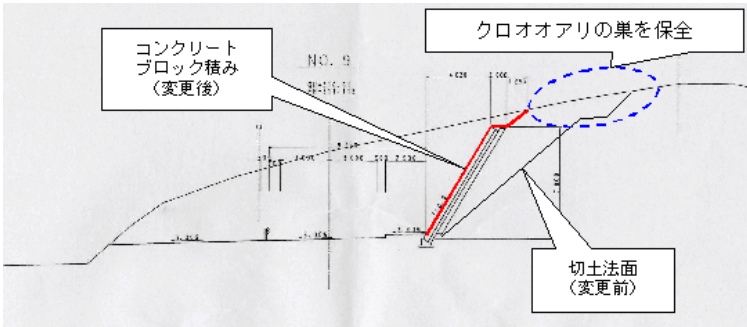

項目	環境保全への取り組みの内容	
動物、植物、生態系に係る事項	<p>中・小型哺乳類の水飲み場の確保 動物の水飲み場の確保やロードキル防止のための谷部への誘導を目的として水飲み場を設置している。</p>	
	<p>巣箱の設置 鳥類の生息場の確保を目的として、巣箱を設置している。</p>	
	<p>昆虫類の生息場の確保 昆虫類の生息場の確保を目的として、伐採木や倒木を活用したシェルターを設置している。</p>	
クロシジミの保全	<p>クロシジミと共生関係にあるクロオオアリの巣の保全を目的として、付替道路の切土法面形状を変更している。</p> 	
クロシジミの保全	<p>現地調査で確認したクロシジミの卵が産み付けられているクリを保全している。</p>	

表 1.3-1 これまでの環境保全への取り組み(5/6)


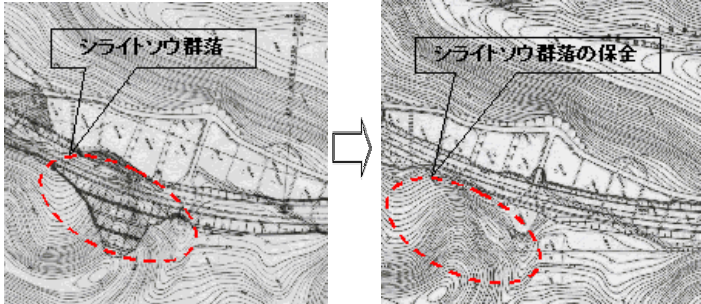


項目	環境保全への取り組みの内容	
動物、植物、生態系に係る事項	<p>植物の重要な種の移植                      工事によって生育環境が消失又は一部減少する植物の重要な種を移植している。</p>	
	<p>シライトソウ群落の生育環境の保全                      シライトソウ群落の生育環境の保全を目的として、付替道路の計画ルート及び形状を変更している。</p>	
	<p>モニタリング調査の実施                      保全措置を実施した項目については、継続的に監視している。</p>	
景観に係る事項	<p>植生の早期復元                      付替道路、代替地等の改変によって影響を受ける眺望景観の変化を、苗木植栽や種子吹き付け等によって植生の早期復元を図り、低減している。(写真は、動物、植物、生態系に係る事項の「植生の早期復元」を参照)</p>	
歴史的文化的遺産に係る事項	<p>大野代官所跡の保全                      大野代官所跡の保全を目的として、付替道路の計画ルートを変更している。</p>	
廃棄物等に係る事項	<p>伐採木や倒木の活用                      昆虫類の生息場の確保を目的として、伐採木や倒木を活用したシェルターを設置している。</p> <p>伐採木のチップ化                      工事によって発生した伐採木をチップ化したものを法面緑化の生育基盤として活用している。</p>	

表 1.3-1 これまでの環境保全への取り組み(6/6)

項目	環境保全への取り組みの内容
<p>廃棄物等に 係る事項</p>	<p>石材の再利用 法面の石積み等の石材の再利用 によって、建設副産物の発生を抑制 している。</p> 